

事務事業	10001	マタニティ教室開催事業	担当課 課長	健康課 作本 和美	担当係 担当者	健康管理係 瀬田 亮子
計後 画期 体計 系画	施策 05	子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	3	母子衛生費
法令根拠条例等			個別計画	健康増進計画「健康しめ21」		
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S59 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)									
町内在住の妊婦及び夫に対し、マタニティ教室を年10回実施。 ①マタニティのつどい(保健師による講話、沐浴・おむつ交換体験、妊婦同士の交流会) ②マタニティ栄養教室(管理栄養士による講話、個別相談等) ③手続き・サポートの案内(産前・産後の手続き・サポートの紹介、妊婦同士の交流会) ④マタニティママ・パパ教室(幼児教育専門家の講話、0歳児親子との交流会) ①、②、③は平日、④のみ日曜開催。場所は保健センター。										
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)										
年度末に次年度の企画立案、講師の手配連絡を行う。 広報や母子手帳交付時に周知を行う。 教室の案内を個別通知をする。 当日の受付、司会や事務処理・報酬支払等を行う。										
<table border="1"> <tr> <td>消耗品費</td> <td>26 千円</td> </tr> <tr> <td>郵便料</td> <td>25 千円</td> </tr> <tr> <td>主な事業費の内訳</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>千円</td> </tr> </table>		消耗品費	26 千円	郵便料	25 千円	主な事業費の内訳	千円		千円	
消耗品費	26 千円									
郵便料	25 千円									
主な事業費の内訳	千円									
	千円									
	千円									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 母子手帳交付時および広報、ホームページにて教室周知を実施。 教室の案内を個別通知。 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町内在住の妊婦およびその配偶者 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 妊婦およびその配偶者の参加が増え、他の妊婦との交流ができる。 心身ともに安定した妊娠期を過ごすことができる。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 教室開催数</td> <td>回</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>8 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ 教室の実参加者に占める個別通知者の割合</td> <td>%</td> <td>25</td> <td>100</td> <td>実施しない (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 教室開催数	回	12	10	8 (見込)	イ 教室の実参加者に占める個別通知者の割合	%	25	100	実施しない (見込)	ウ				(見込)																																				
			指標数値																																																												
	名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																										
	ア 教室開催数	回	12	10	8 (見込)																																																										
	イ 教室の実参加者に占める個別通知者の割合	%	25	100	実施しない (見込)																																																										
ウ				(見込)																																																											
⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 母子手帳交付数</td> <td>人</td> <td>450</td> <td>433</td> <td>440 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 母子手帳交付数	人	450	433	440 (見込)	イ				(見込)	ウ				(見込)																																					
		指標数値																																																													
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																											
ア 母子手帳交付数	人	450	433	440 (見込)																																																											
イ				(見込)																																																											
ウ				(見込)																																																											
⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 母子手帳交付した妊婦の参加率</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標</td> <td>20.0</td> <td>13.0</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>10.6</td> <td>9.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 配偶者の参加者数</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標</td> <td>35</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>24</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ 参加することで友人ができた人の割合</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標</td> <td>80.0</td> <td>50.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>47.9</td> <td>69.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ 教室参加者数(配偶者含む)</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標</td> <td>150</td> <td>120</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>107</td> <td>85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 母子手帳交付した妊婦の参加率	%	目標	20.0	13.0	20.0	実績	10.6	9.7		イ 配偶者の参加者数	人	目標	35	30	30	実績	24	9		ウ 参加することで友人ができた人の割合	%	目標	80.0	50.0	80.0	実績	47.9	69.3		エ 教室参加者数(配偶者含む)	人	目標	150	120	90	実績	107	85		オ		目標						実績			
		指標数値																																																													
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																											
ア 母子手帳交付した妊婦の参加率	%	目標	20.0	13.0	20.0																																																										
		実績	10.6	9.7																																																											
イ 配偶者の参加者数	人	目標	35	30	30																																																										
		実績	24	9																																																											
ウ 参加することで友人ができた人の割合	%	目標	80.0	50.0	80.0																																																										
		実績	47.9	69.3																																																											
エ 教室参加者数(配偶者含む)	人	目標	150	120	90																																																										
		実績	107	85																																																											
オ		目標																																																													
		実績																																																													

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	受益者負担等	7	9	4		
	一般財源	合計(A)	73	67	47	80	80	80
	(内臨時・嘱託職員人件費)		80	76	51	80	80	80
	正職員人件費[按分](B)		1,349	1,212	1,143	1,432		
	トータルコスト(A)+(B)		1,429	1,288	1,194	1,512	80	80

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
母子保健法に基づき、昭和59年から母子手帳交付時に保健師による手帳の使い方、日常生活での注意事項の講話から開始。	マタニティ教室が産婦人科でも行われていることや、働く女性の増加により、以前に比べ参加者は減ってきている。だが、近年虐待や育児不安などが問題視されており、国からの通知においても、妊娠期からの母親との関わりや支援の必要性を謳われている。当町は町外からの転入者も多く、育児のサポート体制が希薄な家庭も多い。妊娠期から、教室参加を通して、町の相談機関(健康課)とのつながりや、妊婦同士のつながりを作ることで、今後の育児の孤立化の予防も必要である。	教室参加者のアンケートからは、昨年度同様、沐浴・おむつ交換実習は参加の動機になり、満足度も高かったため次年度も継続して行いたいと思う。また、今年度、新たに制度やサポート案内の話を入れたが、内容に興味を持って来られ、よかったという声が多かったため、次年度も継続して実施したいと思う。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	・マタニティ教室を3回コースという案内から、いつからでも参加できるように1~2カ月に1回の開催にする。 ・熊丸先生の講話を年4回から2回に変更し、1回あたりの参加者を増やし、コスト削減を図る。 ・母子手帳を交付した全員の方に教室の案内と知識啓発のためにリーフレットを郵送する。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	当町は、妊婦の約14%が転入者であり、実家が遠方の方も多いため、周りに知り合いがいない中での子育てに不安を感じている方も多いため、妊娠中から同じ立場の方と知り合うことは、安心して子育てをするという上位施策への貢献度は大きいと考える。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	医療機関でもマタニティ教室は実施されているが、町での教室であるからこそ、近隣の方と知り合えたり、今後乳幼児健診や教室など同じものに参加をしてつながりを深くすることができると考えられる。また、妊娠期から町の保健師・管理栄養士とつながりを持っておくことは、虐待予防、育児不安の解決につながると考えられる。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	昨年度までは、年4クールでの実施であったが、今年度はいつからでも参加できるようにクールをばらしての開催にした。住民にとっては参加しやすくなったと考える。クールをばらしての開催での周知を普及し、参加者を増やしていく。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	妊娠中に、知り合いを作る機会が町では特になく、マタニティ教室も医療機関によって内容等も異なる。そのため、妊娠中からの支援としては、現在のマタニティ教室が貴重な場となっている。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	委託料のかかっているママパパ教室を、年4回から年2回に合同開催することで講師委託料の削減を行った。また、個別通知をやめることで、郵送料等のコストを削減する。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

今年度の大きな変更点は①教室案内の個別通知を実施 ②クールをばらしての実施 ③産前・産後の手続き・サポート案内の導入であった。ここ数年、参加者が伸び悩んでいたため、教室の個別案内を行ったが、参加者増加という効果はみられなかった。費用対効果の面から、次年度は、個別通知は実施しない。今年度、クールをばらして実施したのは、住民にとって参加しやすくなったと思われるため、次年度も継続して実施したいと思う。また、今年度新たに取入れた産前・産後の制度・サポート案内については内容に興味を持たれ、参加され、よかったという声が多かったため次年度も継続して実施したいと思う。ここ数年、マタニティ教室は、年々教室の参加者が減っているため、今年度母子手帳交付時に教室のニーズ調査を実施した(H28年9月~H29年3月)が、約59%の方が教室に参加意向があったため、この事業は廃止せず、内容の組み合わせを変更して実施したいと思う。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	内容はそのまま、組合せを変更し、年8回に教室回数を減らして実施し、参加者の増加につながらなかった個別通知をやめる。クールをばらしての開催としたことで教室へ参加しやすくする。また教室の周知を進めて、参加者を増やしていきたい。